

JALの感染拡大防止への取組 第5弾

JALではお客さまの声、専門的知見などの情報をもとに、「安全・安心の取組」を進めてまいりましたが、9月からさらに取組を追加し、感染防止に努めております。「JAL Times9月号」では新たな取組をご紹介します。

*下記の取組は空港により実施状況が異なります。順次展開空港を拡大しております。

空港 ~チェックインからご搭乗まで~

チェックイン

- ①お客さまが触れる機器の定期的な清掃・消毒
- ②カウンターには対面パーティションを設置
- ③ソーシャルディスタンス確保のためのアナウンスとポスターの掲示
- ④地上係員はマスクを着用（一部フェイスガード併用）
- ⑤消毒液を設置

保安検査

- ①サーモカメラによる検温（一部空港にて実施）
- ②消毒液を設置

ラウンジ

- ①お食事の提供方法の変更
日本国内 国内線ラウンジ : 個包装でのサービスに限定
日本国内・海外 国際線ラウンジ: 個食・個包装でのサービス、係員による提供サービスに順次変更
- ②カウンター、客席間にパーティションの設置（一部空港にて実施）
- ③お食事のエリアでの消毒拭き掃除・空間除菌
（噴射機による空間除菌は羽田・那覇空港にて実施）
- ④お客さまどうしの間隔確保のため距離空けシールを設置

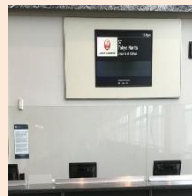
ご搭乗

- ①お客さまの人数を区切って機内にご案内

NEW! 海外空港での取組

パーティションの設置や消毒液設置などの感染拡大防止の取組は海外空港でも実施しております。ご帰国の際も安心なJAL便のご利用をご検討ください。

サンフランシスコ国際空港



ダラス・フォートワース国際空港



NEW! オートディスペンサー式消毒液の設置

消毒液使用の際、お客さまがお手を触れることのないよう、一部空港*1ではオートディスペンサー式の消毒液を設置いたしました。



*1…羽田、新千歳、伊丹、福岡、那覇空港

NEW!

自動チェックイン機非接触化のトライアル実施

自動チェックイン機にタッチレスセンサを取り付けることで、**操作画面に直接触れることなく、**

ご搭乗手続きや座席指定ができる環境づくりを進めます。タッチレスセンサから出る赤外線により、お客さまは画面から3cmほど離れた空中で指を動かすことで自動チェックイン機を操作することができます。

実施空港: 羽田空港国内線第一ターミナル

実施期間: 2020年8月24日～9月15日

(南ウィング18番、26番カウンター)

2020年9月17日～10月9日

(南ウィング18番、26番、北ウィング51番カウンター)



画面に触れずに
操作可能

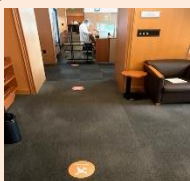


NEW! 海外ラウンジでの取組

～サンフランシスコサクララウンジの運営を再開～*1*2

9月2日より、一時閉鎖しておりましたサンフランシスコサクララウンジの運営を再開しております。日本国内のラウンジと同様に、感染拡大防止の取組を徹底しておりますのでご出発までの時間、安心して過ごすことができます。

- ・お食事は個包装にてご提供
- ・消毒液の設置
- ・カウンターにパーティションを設置
- ・距離空けシールの設置
- ・現地当局からの運営指示により、一部のお座席を使用不可



*1 9月14日現在、運営中の海外ラウンジ（自営）はバンコクサクララウンジ並びにサンフランシスコサクララウンジのみとなります。

*2 9月14日現在、バンコクラウンジ、サンフランシスコサクララウンジはJL便運航時のみ（バンコクはJL34/JL708運航時のみ）ご利用いただけます。

機内 ～機内から手荷物返却場まで～

機内

①提供サービスの一部変更

国内線 全クラス

JAL FLIGHT FUN!アプリでのQRコードの読み取りを一時中断

国内線 ファーストクラス

おしぼりを個包装の使い捨て紙おしぼりに変更

お飲み物はディスポーザブルカップにてご提供

お食事には原則として蓋を被せたまま、または個包装された状態でご提供

国内線 クラスJ および 普通席

2020年8月5日より順次、お飲み物のペーパーカップでのご提供を一部再開
ブランケットおよび枕の貸出しサービスを一時中止

国際線 全クラス

おしぼりを使い捨て紙おしぼりに一時変更

国際線 ファーストクラス および ビジネスクラス

雑誌の貸出しサービスを中止



②原則機内食は個包装化または蓋付きでご提供

③国際線ビジネスクラスの機内食提供方法変更(お皿を差し替えるスタイルからトレーを中心としたサービスへと変更)

④機内販売の現金のお取り扱いを休止

⑥清掃/除菌の定期的な実施、また、除菌シートを用意

⑧国際線機材は毎便、国内線機材は毎日夜間機内消毒

⑩機内は清潔な環境を保持 (機内の空気は概ね2～3分で入れ替わり、常に清潔な状態)

⑤トイレに手指消毒スプレー配備

⑦ポリ袋のご提供

⑨客室乗務員はマスク並びに手袋を着用

降機

①お客さまどうしの間隔確保のため、降機時にアナウンス

手荷物返却場

①消毒液を設置

②カウンターにはパーティションを設置

空港での検査について

現在、入国した日の過去14日間以内に入管法に基づく『入国拒否対象地域』に滞在歴のある方を対象に、入国前に新型コロナウイルスの検査が実施されております。

<日本国内空港到着後の大まかな検査の流れ>

便の輻輳時間帯は
降機待ち発生

再検査 再々検査となる
場合あり

帰りの交通手段を
確認

降機

0分～
空港の状況
次第で前後

検査前 説明

10分～20分

検体採取

5分～
唾液検査が
不適、もしくは
困難な場合、
別検査

待機所へ 移動

空港内 待機

60分～
検査結果
次第で前後

結果伝達 書類提出

10分～

入国

※到着空港や便の運航状況により、当日の運用や時間が異なる可能性があります。

JAL Timesに記載されている感染拡大防止への取組は、JALサイトにてご紹介しております。

実際の取組の様子などをご紹介した動画も掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

(下記URLもしくは右記QRコードよりアクセスください)

URL : www.jal.co.jp/jp/ja/info/2020/other/flysafe/

JALグループでは皆さまのご意見を踏まえて、今後も感染防止に向けた取組を強化してまいります。

